

取立山・小荒島岳

2014年2月22日(土)～23(日)

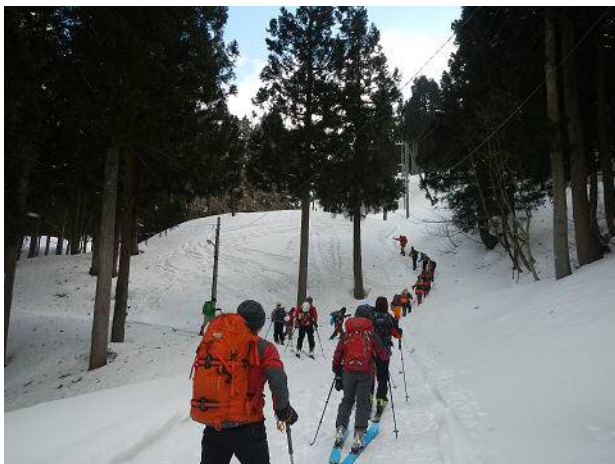
メンバー：池田T、赤碕、ヤマメ、神戸山スキークラブのメンバー10名

赤崎さんが所属する神戸山スキークラブの山行に参加させてもらった。山スキー専門クラブだけのことにはあり、皆スキーが上手だった。また、リーダークラスが複数おり、層の厚さを感じた。いろいろな意味で良い刺激になった。

2/22(土) 曇り時々晴れ 取立山

登山口となる勝山市の「東山いこいの森」近くにて現地集合。神戸のメンバー6名と顔合わせ。リーダーのKさんは口数こそ多くないが、皆に一目置かれていることが見て取れた。

取立山は勝山市内からのアクセスが良く、比較的手軽に楽しめる雪山として関西圏の人々に親しまれているようだ。また、水芭蕉も有名らしい。今回は雪が重めで滑りはイマイチだったが、標高1,100mあたりから上は開けた疎林帯で開放感があつた。



他の団体とほぼ同時に入山。すごい行列になった。



標高1,050m付近の急斜面を登る



急斜面が終わってなだらかになった所



広々とした山頂にて



一番良かった斜面



こも開放感があった

下山後は大野市の宿屋に向かい、夜は宴会で大いに盛り上がった。

<タイム> 東山いこいの森8:05 - 取立山12:00~12:30 - いこいの森14:20



2/23(日) 晴れ時々曇り 小荒島岳

荒島岳には何回か登っているが小荒島岳、それも一のカラ谷の滑降は初めて。今日は神戸からさらに4名合流した。その中には神戸山スキークラブの会長もおり、いずれもツツモノ揃いであった。



登山口の駐車場はほぼ満車でびっけり



勝原スキー場のグレンデ跡をシール登高する。



ブナが多くて癒される



バックは荒島岳

しゃくなげ平に着いた後、有志で登山道脇の斜面を100mほど滑降した。もちろん自分も参加。ブナの疎林帯の滑りを楽しんだ。登り返してしゃくなげ平に戻り、小荒島岳に皆で向かった。山頂の北西端から一のカラ谷に向かって滑り込んだ。

駐車場に戻り、挨拶を交わして解散。我々浜松組は国道158号線を東に向かった。

<タイム> 駐車場7:10-しゃくなげ平10:35~10:50~谷滑降・登り返し~しゃくなげ平11:20~11:35-小荒島岳12:00~12:15-林道13:10~13:30-駐車場14:00

以上